

## 第 59 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第59回日本神経学会学術大会  
大会長 佐々木 秀直

## 開 催 概 要

1. 学術大会会期：2018（平成 30）年 5 月 23 日（水）～ 26 日（土）  
「神経疾患の克服を目指して」をテーマとして、上記日程で開催致します。
2. 学術大会会場：ロイトン札幌  
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 11 丁目  
さっぽろ芸術文化の館  
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 12 丁目  
札幌市教育文化会館  
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 13 丁目
3. 事前参加登録：2018 年 2 月中旬開始予定  
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。  
※日本神経学会第 11 回専門医育成教育セミナー、第 15 回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」、  
第 5 回メディカルスタッフ教育セミナー、及び教育コースもオンラインによる事前登録制とする予定  
です。  
※詳細は追ってホームページでご案内いたします。 (<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/>)
4. 参加費：

		事前	当日
会 員	正会員	15,000 円	18,000 円
	研修医会員	3,000 円	3,000 円
	学生会員（大学院生） ※ 1	—	3,000 円
	学生会員（学部学生） ※ 2	—	無料
	メディカルスタッフ会員	3,000 円	3,000 円
	外国人会員	—	3,000 円

		事前	当日
非 会 員 ※6	非会員（医師）	18,000 円	21,000 円
	非会員（企業）	18,000 円	21,000 円
	非会員（その他）	18,000 円	21,000 円
	メディカルスタッフ ※ 3	8,000 円	8,000 円
	大学院生・初期研修医 ※ 4	3,000 円	3,000 円
	海外参加者	—	3,000 円
	海外 Travel Grant 受賞者 ※ 5	—	3,000 円
	学部学生・日本滞在中の 外国人留学生 ※ 2	—	無料
	メディカルスタッフ教育セミナー のみの参加（5 月 26 日（土））	1,000 円	1,000 円

- ※ 1 大学院生で正会員になられている方は、必ず「正会員」の料金で事前参加登録をお願いいたします。学生会員枠には当てはまりませんのでご注意ください。
- ※ 2 学部学生・日本滞在中の外国人留学生は事前に登録する必要はございません。  
学部学生・日本滞在中の外国人留学生の方は、会員、非会員にかかわらず、学会当日、受付窓口にて「ID」をご提示ください。
- ※ 3 医師以外の医療介護福祉関係者、非会員のメディカルスタッフの方は学会当日、受付窓口にて、「メディカルスタッフ証明書」をご提出ください。  
(「メディカルスタッフ証明書」は上記よりダウンロードしてください。書式が2種類ありますが、どちらか可能な一方をご提出ください(両方ご提出いただく必要はありません).)
- ※ 4 非会員の大学院生の方は学会当日、受付窓口にて「大学院証明書」をご提出ください。  
(「大学院生証明書」は上記よりダウンロードしてください.)  
非会員の初期研修医の方は学会当日、受付窓口にて、「初期研修医証明書」をご提出ください。  
(「初期研修医証明書」は上記よりダウンロードしてください.)
- ※ 5 海外 Travel Grant を受賞された方が対象です。
- ※ 6 非会員の参加費は税込(8%)です。

< Travel Grant について >

- ◎ 下記の方を対象に、Travel Grant を支給いたします。
  - ・ 海外の神経内科医および研修医 (国ごとに上限金額が異なり、査読結果によって金額が決まります.)
  - ・ 日本に留学中の神経内科医および研修医 (往復交通費実費程度を支給予定。上限あり)
- ◎ ご登録いただいた抄録を審査の上、対象者を決定いたします。
- ◎ 年齢制限はございません。
- ◎ 対象の演題を会場で発表することが支給の条件となります。代理受け取りや、ポスターを貼るだけ、という場合は Grant 支給の対象となりませんのでご注意ください。
- ※ 詳細はホームページをご覧ください。  
(<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/en/abstract/awards.html>)

#### 5. 医学生・初期研修医セッション：

医学生・初期研修医及びレジデントの先生方にご発表いただき、優秀な演題については表彰を行います。詳細は、ホームページをご確認ください。  
(<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/abstract/igakusei.html>)

#### 6. メディカルスタッフポスターセッション：

神経内科に関連するメディカルスタッフの方にご発表いただき、優秀な演題については表彰を行います。筆頭演者資格等の詳細は、ホームページをご確認ください。( [http://www.neurology-jp.org/neuro2018/abstract/medical\\_staff.html](http://www.neurology-jp.org/neuro2018/abstract/medical_staff.html) )

#### 7. 託児所：会期中に託児所をご用意いたします。お申し込み方法などにつきましては、追ってホームページでご案内いたします。( <http://www.neurology-jp.org/neuro2018/> )

#### 8. お問い合わせ

##### 【大会長校事務局】

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学  
〒 060-8638 北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目

##### 【日本神経学会事務局】

〒 113-0034 東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号一丸ビル  
TEL : 03-3815-1080 FAX : 03-3815-1931

##### 【第 59 回学術大会運営事務局】

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 2 株式会社コンベンションリンクージ内  
TEL : 03-3263-8688 FAX : 03-3263-8693

E-mail : [neuro2018@c-linkage.co.jp](mailto:neuro2018@c-linkage.co.jp)

## 各種企画のお知らせ

## ☐…英語セッション

1. 大会長講演 (5月24日(木)午後 予定)  
佐々木 秀直  
(北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学 教授)
2. Plenary Lecture (5月23日(水)午後 予定) ☐  
「Meeting the Dementia Challenge in the UK」  
Martin Rossor, M.D. FRCP FMedSci  
(NIHR National Director of Dementia Research, The UCL Institute of Neurology, UK)
3. Semi-Plenary Lecture (5月24日(木)午後 予定) ☐  
「Taming the beast: update on therapies in the pipeline for MSA」  
Gregor K. Wenning, M.D., Ph.D. MSc  
(Chair Division of Neurobiology, Innsbruck Medical University, Austria)
4. 特別講演 1 (5月25日(金)午後 予定)  
「HIV の治療薬開発 (仮題)」  
満屋 裕明  
(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所 所長)
5. 特別講演 2 (5月25日(金)午後 予定)  
「日本神経学会設立から 116 年—歴史を学び未来に生かす」  
葛原 茂樹  
(鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科 教授)
6. 日本神経学会 2016 年度学会賞・楳林賞受賞者招待講演 (5月25日(金)午後 予定)  
2016 年度学会賞 (学術研究部門): 船山 学 (順天堂大学大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター)  
2016 年度楳林賞: 若林 孝一 (弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座)
7. 日本神経学会 2017 年度学会賞・楳林賞受賞者招待講演 (5月24日(木)午後 予定)  
2017 年度学会賞 (学術研究部門): 宮武 聡子 (横浜市立大学附属病院遺伝子診療部)  
2017 年度学会賞 (診療部門): 吉良 潤一 (九州大学大学院医学研究院脳神経病研究施設神経内科学)  
2017 年度学会賞 (診療部門): 楠 進 (近畿大学医学部神経内科)  
2017 年度楳林賞: 服部 信孝 (順天堂大学大学院医学研究科神経学)
8. East Asian Neurology Forum 関連プログラム (5月23日(水)午前・午後 予定) ☐
9. Neuroscience Frontier Symposium/ ホットトピックス / 神経疾患の克服を目指して / ガイドラインコース / シンポジウム等 (予定)  
5月23日(水)午前  
・筋炎の最前線  
・How neurons keep calm and carry on: roles of quality control in neurodegenerative diseases ☐  
・認知症大規模共同体研究 ☐  
・痙性対麻痺: up to date  
・ALS の病態関連分子と治療開発の展望  
5月23日(水)午後  
・我々は、ALS を、早期に診断し、正確に経過を追うことができるのか?  
・改訂てんかんガイドライン  
・自己免疫性脳炎の臨床スペクトラムの拡がり  
・脳梗塞急性期医療  
・Nucleic acid therapeutics (ついに実現した神経変性疾患の核酸医薬) ☐  
・Research frontline of hereditary cerebellar ataxias (遺伝性小脳失調症の病態研究フロントライン) ☐  
5月24日(木)午前  
・パーキンソン病認知症の発症予測

- ・行政のキーパーソンに聞く，これからの医学臨床・教育・研究
- ・脳虚血病態の基礎から translational research へ
- ・ミオクローヌスの最近の知見
- ・難病法下における難病医療提供体制～神経内科医のミッション～
- ・New approach to the cerebral small vessel disease (脳小血管病のこれからの展開) ㊦
- ・Current topics in acute encephalitis update—advance in diagnosis and treatment of autoimmune encephalitis ㊦
- ・神経内科医が知っておくべき代謝性神経疾患 = 保険治療の最前線 =

5月24日(木)午後

- ・認知症臨床の最前線
- ・Intra- & into-the- brain propagation of  $\alpha$ -synuclein: significance for the pathogenesis, progression and therapeutic target of Lewy body diseases (Intra- & into-the- brain propagation of  $\alpha$ -synuclein : レビー小体病の発症・進展機序および治療標的としての重要性) ㊦
- ・脳梗塞再発予防の最新の話
- ・シンポジウム：レジストリー・コホート研究が目指すもの—病態解明・創薬に向けて
- ・ヒトプリオン病の診断・治療法開発の新展開
- ・GBS, CIDP 研究の最前線—分子基盤から疫学まで—
- ・To pursue the best treatment of MG (重症筋無力症のベストな治療をめざして) ㊦
- ・Toward the early diagnosis and treatment of Progressive Supranuclear Palsy (進行性核上性麻痺の早期診断・早期治療をめざして) ㊦

5月25日(金)午前

- ・遺伝性ジストニア—update
- ・ノンコーディング RNA が関わる ALS や SCA に共通する新たな神経変性メカニズム
- ・超急性期脳卒中，時短最前線
- ・神経内科医が知っておくべきゲノム医療の最先端
- ・神経内科医の燃え尽き症候群を防ぐために～バーンアウトしないための Tips をシェアしよう～
- ・スポーツ神経学の現状と将来展望～基礎から臨床まで～
- ・New frontier of epileptogenicity: translatability between basic and clinical fields (てんかん病態の新知見：基礎と臨床の translatability) ㊦
- ・Pathological basis and therapeutic strategy for neuropsychiatric symptoms (神経内科が診る精神症状の病態基盤と治療戦略) ㊦

5月25日(金)午後

- ・シンポジウム：ゲノムから孤発性神経疾患が解明できるか？
- ・機器をつかった機能再生と運動学習
- ・神経疾患の新薬開発・医師主導治験の最前線
- ・Charcot-Marie-Tooth 病の最新の診断と治療
- ・新しい中枢神経刺激治療法 現状と未来
- ・Cross-interaction of neuro-immune axis in autoimmune disorders of the CNS (中枢神経系自己免疫疾患における神経・免疫の相互作用) ㊦
- ・アルツハイマー病最先端 ㊦

5月26日(土)午前

- ・片頭痛の謎を解き明かす
- ・新たに確立された神経疾患：その臨床および病理像
- ・いま，Neuroimaging で見えるもの，見なければいけないもの
- ・パーキンソン病治療の Unmet Needs を考える
- ・神経難病の多職種連携～すぐに役立つケアを目指して～
- ・21世紀の女性医師の活躍促進～ポジティブに仕事を楽しもう！
- ・Gene & Cell Therapy for Neurological Diseases (神経疾患の遺伝子・細胞治療) ㊦
- ・Prion-like phenomenon: From myth to reality ㊦
- ・SCD・MSA 診療ガイドラインとその活用

5月26日(土)午後

- ・パーキンソン病の自律神経機能障害
- ・神経免疫難病のトランスレーショナルリサーチ：モデルから目指す創薬

10. レクチャーマラソン
11. 教育コース（事前登録制）
12. メディカルスタッフポスターセッション（5月25日（金）・26日（土）予定）
13. 医学生・初期研修医セッション（5月26日（土）予定）
14. 各種共催セミナー
15. 神経内科ウィーク（市民公開講座）
16. 日本神経学会主催セミナー（事前登録制）
  - ・第15回生涯教育セミナー「レクチャー」（5月23日（水）午前・26日（土）午後 予定）
  - ・第15回生涯教育セミナー「Hands-on」（5月23日（水）午前・26日（土）午後 予定）
  - ・第11回専門医育成教育セミナー（5月23日（水）午前・午後 予定）
  - ・第5回メディカルスタッフ教育セミナー（5月26日（土）午後 予定）
  - ・市民講座（5月27日（日）午後 予定）

※プログラムの最新情報については、大会ウェブサイトをご確認ください。

以上